

●実務経験のある教員等による授業科目

音楽アーティスト科

キーボードコース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有 無の別	実務経験授業 の時間数
全科 共通 科目	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ	54	51	必修	講義	○	105
	デビュー・就職実務Ⅰ	80		必修	講義		－
	デビュー・就職実務Ⅱ		53	必修	講義		－
	著作権		19	必修	講義		－
	PC実習	54		必修	講義		－
	選択授業	34	34	必修	講義		－
	異文化研究	15	15	必修	講義		－
	イベント制作実習A	129	118	必修	実習	○	247
	イベント制作実習B	311	311	必修	実習	○	622
専門 科目	DTMⅠ	34		必修	実習	○	34
	DTMⅡ		34	必修	実習	○	34
	作曲音楽理論Ⅰ	34		必修	実習	○	34
	ピアノコード実技		34	必修	実習	○	34
	キーボードトレーニングⅠ	36		必修	実習	○	36
	キーボードトレーニングⅡ		36	必修	実習	○	36
	ピアノ・キーボード専攻実技Ⅰ	36		必修	実習	○	36
	ピアノ・キーボード専攻実技Ⅱ		36	必修	実習	○	36
	ピアノ・キーボード実技Ⅰ	36		必修	実習	○	36
	ピアノ・キーボード実技Ⅱ		36	必修	実習	○	36
	キーボードセオリーⅠ	36		必修	実習	○	36
	キーボードセオリーⅡ		36	必修	実習	○	36
	アンサンブル実習	34	34	必修	実習	○	68
							－
							－
							－
							－
							－
合計	総授業時間数	923					
合計	総授業時間数		847				合計
卒業時最少時間		1770					1466

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	51/54 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼びし、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2022年度例) エイベックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、株式会社コレオグラフィー、合同会社UNITY 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	80 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定			
------	--	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導①、新潟県について
2	社会人としてのルールの基本指導② 卒後やアルバイトで役に立つ労働法クイズ
3	第1編1章 メールについて①
4	第1編2章 メール発信のフィードバック、送付状の書き方①
5	第1編3章① 送付状の書き方フィードバック 就職につながるフジロック等アルバイト説明
6	第1編3章② 履歴書の書き方指導、前期期末試験(課題提出)について説明
7	第2編1章 コミュニケーション、敬語
8	第2編2章 コミュニケーション、敬語
9	第2編3章 ビジネス文書(社内・社外)、グラフ
10	第3編1章① 特別講師による講義・レポート提出
11	第3編1章② 特別講師による講義・レポート提出
12	第3編2～5章 社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
13	ジョブカードを使用した進路先確認① 特別講師による講義・レポート提出
14	ジョブカードを使用した進路先確認② 特別講師による講義・レポート提出
15	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出
16	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出
17	第3編2級課題慶事のマナーなど① 特別講師による講義・レポート提出
18	後期期末試験(課題提出)について説明、進級時特待の案内 特別講師による講義・レポート提出
19	就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導
20	就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ			実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	53	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。デビュー・就職の実現に向け随時個別ヒアリングとフォローを実施。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。 就職志望:Ⅰ【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。
2	アーティスト志望:「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談 就職志望:「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談
3	アーティスト志望:現状プロフィールシートの更新。確認と再作成 就職志望:履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)
4	アーティスト志望:プロフィールシートの提出 就職志望:履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)と提出
5	アーティスト志望:プロフィールシートの添削フィードバック 就職志望:履歴書・必要書類の添削フィードバック
6	アーティスト志望:①【活動報告書】の作成と提出 就職志望:①【活動報告書】の作成と提出
7	アーティスト志望:①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望:①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
8	アーティスト志望:オーディション対策(自己PRの練習) 就職志望:面接対策(自己PR、志望動機の練習)
9	アーティスト志望:個別面談・フィードバック 就職志望:個別面談・フィードバック
10	アーティスト志望:【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など 就職志望:【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など
11	「コミュニケーション検定」補講・検定
12	アーティスト志望:②【活動報告書】の作成と提出 就職志望:②【活動報告書】の作成と提出
13	アーティスト志望:②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望:②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
14	アーティスト志望:現状プロフィールシートの更新。確認と再作成 就職志望:②面接対策(自己PR、志望動機の練習)
15	アーティスト志望:プロフィールシートの提出 就職志望:未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)
16	アーティスト志望:③【活動報告書】の作成と提出 就職志望:③【活動報告書】の作成と提出
17	アーティスト志望:③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望:③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
18	アーティスト志望:プロフィールシートの提出 就職志望:未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。 自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説により深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視聴＆解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用) 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	54 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	テキスト・問題集 (Word・Excel共に) 自作のプリント 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	15 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	129 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
13	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
14	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
15	フィードバック・反省会
16	
17	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	311 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)	講義実施時期	前期	
		必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	118 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
13	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
14	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
15	フィードバック・反省会
16	
17	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	311 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	DTM I		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	譜面(マスタリズム/リードシート)を用いた演奏のアプローチ、バンド演奏時に必要な知識・技術を習得する。 楽曲中での演奏パートの役割を理解し、パートアレンジのアプローチを学ぶ。 オリジナル曲でのバンドアレンジの進め方を習得する。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 バンドアンサンブルについての必要な知識 スタジオリハーサルを進め方
2	課題曲① 譜面の読み方 パート確認
3	課題曲① アンサンブルの音作り リハーサルマークを用いた演奏
4	課題曲① ダイナミクスやキメを意識した演奏
5	課題曲① まとめ 簡易レコーディング
6	課題曲② シーケンスを使った演奏 パート確認
7	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏
8	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏 簡易レコーディング
9	課題曲③ セッション系楽曲の演奏方法
10	課題曲③ セッション系楽曲 簡易レコーディング 前期まとめ
11	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
12	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
13	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
14	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
15	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
16	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
17	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題曲のレコーディング音源50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	DTM II		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	譜面(マスタリズム/リードシート)を用いた演奏のアプローチ、バンド演奏時に必要な知識・技術を習得する。 楽曲中での演奏パートの役割を理解し、パートアレンジのアプローチを学ぶ。 オリジナル曲でのバンドアレンジの進め方を習得する。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 バンドアンサンブルについての必要な知識 スタジオリハーサルを進め方
2	課題曲① 譜面の読み方 パート確認
3	課題曲① アンサンブルの音作り リハーサルマークを用いた演奏
4	課題曲① ダイナミクスやキメを意識した演奏
5	課題曲① まとめ 簡易レコーディング
6	課題曲② シーケンスを使った演奏 パート確認
7	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏
8	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏 簡易レコーディング
9	課題曲③ セッション系楽曲の演奏方法
10	課題曲③ セッション系楽曲 簡易レコーディング 前期まとめ
11	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
12	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
13	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
14	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
15	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
16	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
17	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題曲のレコーディング音源50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲音楽理論		実務授業の有無	○
担当講師	真柄 伸彬		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	作曲・編曲に必要なハーモニー・スケールの基礎を習得し、メロディーやアレンジのアプローチを学ぶ。 音楽の構造を理解することにより既存曲のアナライズ等、音楽研究が出来るようになり楽曲制作のクオリティを向上させる。			
------	---	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	音楽理論とは何か 音楽理論を学ぶ必要性 授業の趣旨
2	メジャースケールとキー インターバル(音の距離)
3	インターバル確認 基本コードの構造(3和音)
4	3和音の確認 基本コードの構造(4和音)
5	4和音の確認 コードの構造(応用)
6	コードの構造確認 コードの転回
7	キーと調号 ダイアトニックコード
8	ダイアトニックコードとコードスケール テンションノートとアポイドノート
9	ダイアトニックコードの機能とコード進行 ドミナントモーション ケーデンス／前期評価課題 まとめ
10	前期の確認
11	セカンダリードミナント
12	セカンダリードミナントを用いたメロディーのアプローチ
13	セカンダリードミナントを用いたコードアレンジ
14	マイナーキー ナチュラルマイナースケールとダイアトニックコード
15	ハーモニクマイナー・メロディックマイナーのスケールとダイアトニックコード
16	マイナーキーを用いた楽曲制作練習
17	モーダルインターチェンジ
18	モーダルインターチェンジを用いた楽曲制作練習
19	後期評価課題 まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	期末課題50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	新潟市を拠点に作曲家として活動中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲音楽理論Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	佐藤 和音		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	MIDIキーボードやシンセサイザーを活用した作編曲の手法を学ぶ。ポピュラー音楽理論を中心とした作曲法や、流行の音楽ジャンルを参考にしたアレンジメントについて扱う。また、シンセサイザー音色を用いた楽曲制作が出来るようになるためには、シンセサイザーの仕組みを理解することが必須になるので、その必要な知識を学び実践してもらう。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業ガイダンス(授業内容・到達目標の共有)DTMにおけるキーボードの活用法について①一打ち込みやMIDI CC、コントロールサーフェス等の入力系機能の活用
2	DTMにおけるキーボードの活用法について②DAW内部でハードウェアキーボード(シンセサイザー)の音色を使用する
3	アナログシンセサイザーの基礎知識とその仕組み ハードウェアシンセサイザーとソフトウェアシンセサイザーの主な種類
4	バンドサウンドアレンジにおけるキーボードの役割、キーボード(シンセサイザー)の音色の種類とアレンジについて
5	ソフトウェアシンセサイザー「SynthCell」の使い方と音色制作
6	ダンス/クラブミュージック・エレクトロミュージックにおけるシンセサイザーの役割とパート構成、アレンジについて
7	ソフトウェアシンセサイザー「Vital」の使い方と音色制作
8	ソフトウェアシンセサイザープラグインの主な種類とvstプラグインの活用
9	前期課題曲の提出と評価・アドバイス
10	和声機能論と代理和音① コード・パターンの活用とリハーモナイズ/リレイテッドⅡマイナー
11	テンションとテンションコードの活用
12	転調① 平行・同主調間転調 パラレル・マイナー・コードの活用
13	転調② ポピュラー音楽で使用されやすい転調/近親調・遠隔調への転調について
14	ディミニッシュ・コードの活用とトライトーンによるドミナント7thコードとの関係について スラッシュ・コードの活用①
15	スラッシュ・コードの活用② ペダルポイント/ハイブリッド・コード
16	チャーチ・モード・スケールと様々なスケールの活用 モーダル・インターチェンジとモダ的作曲法について
17	代理和音② トライトーン・サブスティテュションによる代理和音とリハーモナイズ
18	
19	

教科書等	なし
成績評価	制作課題60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟市を拠点に作曲家として13年活動中。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	キーボードトレーニングⅠ		実務授業の有無	○
担当講師	斉藤 伸宜	講義実施時期		前期・後期
		必修・選択		必修
対象学年	1	年	総授業時間	36 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	コード理論、コードトレーニング、コードによるアレンジやアドリブ演奏等を総合的に学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ヒアリング・スキルテスト。課題曲の選曲。
2	音程(コード理論)。コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
3	音程(コード理論)。コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
4	トライアド・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
5	セブンス・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
6	ダイアトニック・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
7	テンション・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
8	テンション・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
9	前期まとめ。課題曲演奏試験
10	コードスケール・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
11	コードスケール・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
12	コード進行・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
13	コード進行・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
14	アレンジ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
15	アレンジ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
16	アドリブ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
17	アドリブ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
18	アドリブ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)③
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題披露60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟県内大手ミュージックスクールにて、ピアノ講師歴13年。 ブライダルでの演奏や、ライブ活動歴15年。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	キーボードトレーニングⅡ		実務授業の有無	○
担当講師	斉藤 伸宜	講義実施時期		前期・後期
		必修・選択		必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	コード理論、コードトレーニング、コードによるアレンジやアドリブ演奏等を総合的に学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ヒアリング・スキルテスト。課題曲の選曲。
2	音程(コード理論)。コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
3	音程(コード理論)。コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
4	トライアド・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
5	セブンス・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
6	ダイアトニック・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
7	テンション・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
8	テンション・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
9	前期まとめ。課題曲演奏試験
10	コードスケール・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
11	コードスケール・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
12	コード進行・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
13	コード進行・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
14	アレンジ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
15	アレンジ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
16	アドリブ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)
17	アドリブ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)②
18	アドリブ・コードトレーニング。課題曲(コード弾き)③
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題披露60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟県内大手ミュージックスクールにて、ピアノ講師歴13年。 プライダルでの演奏や、ライブ活動歴15年。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ピアノ・キーボード専攻実技Ⅰ		実務授業の有無	○
担当講師	斉藤 伸宜	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	36 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	ピアノ演奏の基礎となるトレーニングを行い、バンドアンサンブルにおけるキーボードパートの演奏技法の習得や、シンセサイザーの音作り、採譜を学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(自己紹介・動機付け) スキルチェック、ピアノ基礎トレーニング、課題曲①選定→キーボードパートの聴き取り、譜面起こし
2	ピアノ基礎トレーニング 課題曲①譜面起こし
3	ピアノ基礎トレーニング 課題曲①を実際に弾いてみる
4	ピアノ基礎トレーニング 課題曲①キーボードパートの音作り→設定した音色で音源に合わせて練習
5	ピアノ基礎トレーニング 課題曲①テスト→フィードバック、課題曲②選定→キーボードパートの聞き取り、譜面起こし
6	ピアノ基礎トレーニング 課題曲②譜面起こし
7	ピアノ基礎トレーニング 課題曲②を実際に弾いてみる
8	ピアノ基礎トレーニング 課題曲②キーボードパートの音作り→設定した音色で課題曲練習
9	課題曲②テスト→フィードバック、前期まとめ
10	イントロダクション(動機付け、後期目標設定) ピアノ基礎トレーニング、バンド演奏におけるキーボードのフレーズ研究
11	ピアノ基礎トレーニング 課題曲③(キーボードなしの楽曲)選定→自分でキーボードのフレーズを考案→譜面起こし
12	ピアノ基礎トレーニング 課題曲③自分でキーボードのフレーズを考える→譜面起こし
13	ピアノ基礎トレーニング 課題曲③キーボードパートの音作り→設定した音色で音源に合わせて練習
14	ピアノ基礎トレーニング 課題曲③テスト→フィードバック、課題曲④(キーボードなしの楽曲)選定→自分でキーボードパートのフレーズを考案→譜面起こし
15	ピアノ基礎トレーニング 課題曲④自分でキーボードのフレーズを考える→譜面起こし
16	ピアノ基礎トレーニング 課題曲④キーボードパートの音作り→設定した音色で音源に合わせて練習
17	ピアノ基礎トレーニング 課題曲④音源に合わせて練習
18	課題曲④テスト→フィードバック、後期まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	出席率20%、授業態度および学習意欲40%、課題テスト40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟県内大手ミュージックスクールにて、ピアノ講師歴13年。 ブライダルでの演奏や、ライブ活動歴15年。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ピアノ・キーボード専攻実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	斉藤 伸宜	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	ピアノ演奏の基礎となるトレーニングを行い、バンドアンサンブルにおけるキーボードパートの演奏技法の習得や、シンセサイザーの音作り、採譜を学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(自己紹介・動機付け) スキルチェック、ピアノ基礎トレーニング、課題曲①選定→キーボードパートの聴き取り、譜面起こし
2	ピアノ基礎トレーニング 課題曲①譜面起こし
3	ピアノ基礎トレーニング 課題曲①を実際に弾いてみる
4	ピアノ基礎トレーニング 課題曲①キーボードパートの音作り→設定した音色で音源に合わせて練習
5	ピアノ基礎トレーニング 課題曲①テスト→フィードバック、課題曲②選定→キーボードパートの聞き取り、譜面起こし
6	ピアノ基礎トレーニング 課題曲②譜面起こし
7	ピアノ基礎トレーニング 課題曲②を実際に弾いてみる
8	ピアノ基礎トレーニング 課題曲②キーボードパートの音作り→設定した音色で課題曲練習
9	課題曲②テスト→フィードバック、前期まとめ
10	イントロダクション(動機付け、後期目標設定) ピアノ基礎トレーニング、バンド演奏におけるキーボードのフレーズ研究
11	ピアノ基礎トレーニング 課題曲③(キーボードなしの楽曲)選定→自分でキーボードのフレーズを考案→譜面起こし
12	ピアノ基礎トレーニング 課題曲③自分でキーボードのフレーズを考える→譜面起こし
13	ピアノ基礎トレーニング 課題曲③キーボードパートの音作り→設定した音色で音源に合わせて練習
14	ピアノ基礎トレーニング 課題曲③テスト→フィードバック、課題曲④(キーボードなしの楽曲)選定→自分でキーボードパートのフレーズを考案→譜面起こし
15	ピアノ基礎トレーニング 課題曲④自分でキーボードのフレーズを考える→譜面起こし
16	ピアノ基礎トレーニング 課題曲④キーボードパートの音作り→設定した音色で音源に合わせて練習
17	ピアノ基礎トレーニング 課題曲④音源に合わせて練習
18	課題曲④テスト→フィードバック、後期まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	出席率20%、授業態度および学習意欲40%、課題テスト40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	新潟県内大手ミュージックスクールにて、ピアノ講師歴13年。 ブライダルでの演奏や、ライブ活動歴15年。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	キーボード実技Ⅰ		実務授業の有無	○
担当講師	斉藤 伸宜	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	36 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	楽典による基礎知識および理論。 読譜力や実践のためのトレーニングと実技を学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ヒアリング・スキルテスト・ピアノトレーニング・課題曲の選曲。
2	譜表と音名・ピアノトレーニング・課題曲。
3	音符と休符・初見・ピアノトレーニング・課題曲
4	リズムと拍子・聴音ピアノトレーニング・課題曲
5	音階・初見・ピアノトレーニング・課題曲
6	和音・聴音・ピアノトレーニング・課題曲
7	早さ強さに関する表示法・初見・ピアノトレーニング・課題曲
8	曲想、奏法に関する表示法・聴音ピアノトレーニング・課題曲
9	前期まとめ・課題曲演奏試験。
10	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲1
11	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲2
12	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲3
13	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲4
14	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲5
15	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲6
16	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲7
17	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲8
18	後期まとめ。課題曲演奏試験

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	新潟県内大手ミュージックスクールにて、ピアノ講師歴13年。 ブライダルでの演奏や、ライブ活動歴15年。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	キーボード実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	斉藤 伸宜		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	楽典による基礎知識および理論。 読譜力や実践のためのトレーニングと実技を学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ヒアリング・スキルテスト・ピアノトレーニング・課題曲の選曲。
2	譜表と音名・ピアノトレーニング、課題曲。
3	音符と休符・初見・ピアノトレーニング・課題曲
4	リズムと拍子・聴音ピアノトレーニング・課題曲
5	音階・初見・ピアノトレーニング・課題曲
6	和音・聴音・ピアノトレーニング・課題曲
7	早さ強さに関する表示法・初見・ピアノトレーニング・課題曲
8	曲想、奏法に関する表示法・聴音ピアノトレーニング・課題曲
9	前期まとめ、課題曲演奏試験。
10	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲1
11	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲2
12	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲3
13	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲4
14	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲5
15	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲6
16	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲7
17	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲8
18	後期まとめ。課題曲演奏試験

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。

実務経験教員の 経歴	新潟県内大手ミュージックスクールにて、ピアノ講師歴13年。 プライダルでの演奏や、ライブ活動歴15年。
---------------	--

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	キーボードセオリーⅠ		実務授業の有無	○
担当講師	斉藤 伸宜	講義実施時期	前期・後期	
		必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	36 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	楽典による基礎知識および理論。 読譜力や実践のためのトレーニングと実技を学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ヒアリング・スキルテスト・ピアノトレーニング・課題曲の選曲。
2	譜表と音名・ピアノトレーニング・課題曲。
3	音符と休符・初見・ピアノトレーニング・課題曲
4	リズムと拍子・聴音ピアノトレーニング・課題曲
5	音階・初見・ピアノトレーニング・課題曲
6	和音・聴音・ピアノトレーニング・課題曲
7	早さ強さに関する表示法・初見・ピアノトレーニング・課題曲
8	曲想、奏法に関する表示法・聴音ピアノトレーニング・課題曲
9	前期まとめ・課題曲演奏試験。
10	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲1
11	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲2
12	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲3
13	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲4
14	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲5
15	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲6
16	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲7
17	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲8
18	後期まとめ。課題曲演奏試験

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	新潟県内大手ミュージックスクールにて、ピアノ講師歴13年。 ブライダルでの演奏や、ライブ活動歴15年。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	キーボードセオリーⅡ		実務授業の有無	○
担当講師	斉藤 伸宜		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	キーボードコース

授業概要	楽典による基礎知識および理論。 読譜力や実践のためのトレーニングと実技を学ぶ。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ヒアリング・スキルテスト・ピアノトレーニング・課題曲の選曲。
2	譜表と音名・ピアノトレーニング、課題曲。
3	音符と休符・初見・ピアノトレーニング・課題曲
4	リズムと拍子・聴音ピアノトレーニング・課題曲
5	音階・初見・ピアノトレーニング・課題曲
6	和音・聴音・ピアノトレーニング・課題曲
7	早さ強さに関する表示法・初見・ピアノトレーニング・課題曲
8	曲想、奏法に関する表示法・聴音ピアノトレーニング・課題曲
9	前期まとめ・課題曲演奏試験。
10	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲1
11	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲2
12	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲3
13	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲4
14	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲5
15	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲6
16	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲7
17	初見・聴音・ピアノトレーニング・課題曲8
18	後期まとめ。課題曲演奏試験

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。

実務経験教員の 経歴	新潟県内大手ミュージックスクールにて、ピアノ講師歴13年。 プライダルでの演奏や、ライブ活動歴15年。
---------------	--

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名				実務授業の有無	
担当講師			講義実施時期		
			必修・選択		
対象学年		年	総授業時間		時間
対象学科			対象コース		

授業概要	
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

教科書等	
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

フォントは「MS Pゴシック」
フォントサイズは11をお願いします

赤色の網掛けは、
フルダウから選択してください。

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	山本雄太(コーディネーター)	講義実施時期	前期・後期	
対象学年		必修・選択	必修	
対象学科	1・2	年	38	時間
対象コース	全学科	対象コース	全コース	

授業概要	日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師としてお呼びし、講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。
------	---

「授業概要」について

- ①その授業の全体像
 - ②主な内容
 - ③授業の到達目標
 - ④その他重要事項
- などを書いていただき、この授業を受けていない人が読んだとしても、科目の全貌が理解できるよう心がけてください。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 ①メインテーマ『ポピュラー音楽の歴史的な移り変わりについて』 ②ポピュラー音楽初期の名曲鑑賞。
2	①メインテーマ『大正時代から昭和の初期(戦前まで)の名曲鑑賞』 ②歌詞の意味についての考察。 ③時代背景を踏まえた、この時代の社会問題等についての解説。
3	①メインテーマ『テレビCMの誕生から現在まで』 ②歴史的な名作CMを実際の映像にて鑑賞。 ③「これまでで最も印象に残っているCM」というテーマでディスカッション。
4	①メインテーマ『クラシック音楽』 ②誰もが知っているクラシック音楽を鑑賞。「何に使われていたでしょうクイズ」 ③クラシック界が抱える問題と、その解決についてレポートをまとめる(次回授業開始時に提出)
5	①メインテーマ『ショートムービーの世界』 ②秀作ショートムービーを鑑賞し、短時間での映像表現について、考える。 ③上記②の作品についてのレポート制作(次回授業開始時に提出)
6	①メインテーマ『妙な音楽』 ②奇妙な音楽を聴き、その作者がその作品に込めた「想い」や「狙い」について考察する。 ③本日聴いた音楽に関するレポート作成(当日、授業終了後に提出)
7	①メインテーマ『ジャニーズ事務所』 ②ジャニーズ事務所の光と闇について、同事務所の歴史的変遷を交えて解説する。 ③ジャニー喜多川後の、ジャニーズ事務所を考える(次期社長や今後の展開についての独自な解釈)。
8	①メインテーマ『映画(映像)と音楽』 ②映画(映像)とともにある音楽について考え、その成り立ちを理解する。 ③印象的に使われている「映画(映像) & 音楽」に触れ、ディスカッションを行う。
9	①メインテーマ『ヴィジュアル系』 ②ヴィジュアル系の過去と現在を把握し、何故海外で支持されるに至ったのかを検証する。 ③元祖ビジュアル系と、NEOビジュアル系、そして未来のヴィジュアル系についての考察。
10	①メインテーマ『これから来る！音楽エンタテインメントについて』 ②このテーマについて、全員でディスカッション。何故、「来る」と感じているのかも含めて発表。 ③全11回の授業についての感想レポートと、授業アンケート。

「授業計画」について

初回には、必ずその科目の趣旨や全体像、到達目標などについてのガイダンスを行ってください。

- ①②③と箇条書きにしているのは一例です。
- 普通の文章で内容を説明しても結構です。

PCも機種にもよりますが、
「Alt」を押しながら「Enter」を押すと、改行できます。

授業の回数によって行の追加・削除や行の高さを変更してください。

※これは例ですので、実際のSHOW!ゼミの授業計画ではありません。

教科書等	なし
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーターとして15年音楽業界に従事

「成績評価」について

何をどのような割合で評価するのか明確にしてください。

●●が▲%、■■が★%で評価する。
などです。

また、「成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。」は必ず入れてください。

「実務経験教員の経歴」について

「実務授業の有無」に○がついた講師の経歴を入力ください。
授業科目に関連する実務経験であることが必要です。

文部科学省からの通達↓
教員が担当する授業科目に関連する実務経験であることが必要であるが、これを満たしていれば、実務経験の具体的な内容については問わない。従って、どのような組織や場所における実務経験であっても差し支えないし、どのような期間の実務経験であっても差し支えない。ただし、他の大学等における教員としての勤務経験は、原則として「実務経験」には該当しないことに注意すること。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	アンサンブル実習		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース

授業概要	アンサンブルを通じて、バンドでのリズム・メロディ・ハーモニーのアレンジを総合的に学ぶ。課題曲を演奏したり、課題曲をアレンジしたりして楽曲への理解を深め、アレンジも行えるように指導を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション。マスタリズム・楽譜とは何か。課題曲①(ワンコーラス)
2	課題曲①
3	課題曲②
4	課題曲②
5	課題曲③
6	課題曲③
7	前期末課題曲④
8	前期末課題曲テスト
9	課題曲⑤
10	課題曲⑤
11	課題曲⑥
12	課題曲⑥
13	課題曲⑦
14	課題曲⑦
15	課題曲⑦
16	課題曲⑦
17	後期末課題曲テスト
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。